

一般会計

一般会計等予算審査特別委員会では、平成21年度の予算について、さまざまな質疑がありました。

市民活動・ボランティアセン

ターはむら

Q 市民活動センター事業に要する人件費は何人分で、またどのような仕事をしているか。



▲市民活動・ボランティアセンターはむら

A 社会福祉協議会の職員5人が従事している。市内のボランティア団体の登録、団体への情報提供、広報紙「市民活動ボランティアセンターはむらだより」の発行、市民活動における個人間・団体間の橋渡しなど、情報センターのような活動をしている。

母子家庭の自立支援

Q 母子家庭自立支援給付金事業とはどんなものか。

A 2つの事業がある。どちらも母子家庭の母親に給付するもので、母子家庭自立支援教育訓練給付金事業は、医療事務やホームヘルパーなど、

就職に有利になるような資格や教育訓練を受けた場合に、かかった訓練費の20%を10万円を限度に給付するもの。母子家庭高等技能訓練促進費は、2年以上養成機関に通学して、看護師、介護福祉士など決められた資格を取得する場合、後半の18カ月分の受講料を限度として定められた金額を給付する事業である。

新型インフルエンザ対策

Q 新型インフルエンザへの対策はどうするのか。

A 平成20年度に全職員を対象に新型インフルエンザ対策の研修を実施した。担当課で協議し、具体的な対応を考えている。平成21年度は防護服や使い捨ての体温計を購入し、今後段階的に用意する予定である。

小中一貫教育

Q 小中一貫教育については、より充実した広報活動を行う必要があると思うが、考えは。

A 検討委員会から最終報告が出されるので、リーフレットを作成し、全教職員、保護者、市民等に周知する。また研修会、説明会を実施する予定である。



▲生涯学習センターゆとろぎ

市民大学講座

Q ゆとろぎの大学との連携による市民講座の内容は。またこの大学と提携するのか。

A 教養的・専門的な大学の特性を生かした講座を3講座計画している。提携先は首都大学東京を考えている。

特別会計等

Q&A

西口・事業委託

Q 土地区画整理事業委託はどのような内容の事業を委託しているのか。

A 区画整理事業推進のために（財）東京都新都市建設公社に委託をしているもので、計画業務、換地業務、補償調査等の業務、工事業務等である。

下水道・あきる野市への委託

Q あきる野市への管渠維持管理委託料の内容は。

A 清流地区は低い地区のためポンプで上部に押し上げる必要があり、電気料と事務費をあきる野市へ払っている。

水道・水道ビジョン策定

Q 水道事業の経営戦略を実行するためのビジョン策定とは具体的にどのようなものか。

A 水道事業を取り巻く現状と課題について分析、評価を行い、今後の方向性を明らかにして、将来に向かってどのように水道事業を進めていくかをまとめるものである。



▲第1配水場（水道事務所）

平成21年度会計別予算

（単位：千円、％）

区 分		平成 21 年度	平成 20 年度	増減額	増減率
一 般 会 計		19,120,000	20,070,000	▲ 950,000	▲ 4.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	5,592,494	5,292,982	299,512	5.7
	老 人 保 健 医 療	7,995	395,157	▲ 387,162	▲ 98.0
	後 期 高 齢 者 医 療	634,772	620,076	14,696	2.4
	介 護 保 険 事 業	2,269,402	2,210,778	58,624	2.7
	羽村駅西口土地区画整理事業	469,062	466,278	2,784	0.6
	下 水 道 事 業	1,563,772	2,217,916	▲ 654,144	▲ 29.5
	特 別 会 計 合 計	10,537,497	11,203,187	▲ 665,690	▲ 5.9
水 道 事 業 会 計		1,442,296	1,514,379	▲ 72,083	▲ 4.8
全 会 計 単 純 合 計		31,099,793	32,787,566	▲ 1,687,773	▲ 5.1

※水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額

第2回 分権時代の議会のあり方ー市民自治の視点からー

講師：福嶋浩彦さん（前我孫子市長）



平成19年1月まで3期12年、我孫子市長を務め、現在は中央学院大学客員教授・東洋大学大学院客員教授・東京財団上席研究員として活躍されている福嶋浩彦さんをお招きし、市民自治の視点から議会のあり方について自身の体験を交えたご講演をいただきました。

「分権時代の議会のあり方として、2元代表制（議員と市長をともに市民が直接選ぶこと）を真に機能させることが大切である。議会の最大の役割は『政策の決定権』を持っていることであり、市長との関係を車に例えるならば、議会はハンドル（舵取り）やブレーキであるので、徹底した議論をして方向を決定しなければならない。またこの決定について市民に対して説明する責任がある」と訴えられました。

議会は2元代表制の一方として、また市民から選ばれた代表者の集団として、市民とのつながりを深め、全市民の利益となる政策や方針を決定できる、議会のあるべき姿を考えていく契機となり、今後の議会活動に向け、有意義な研修でした。

[平成21年1月19日]

議員研修

テレビのコメンテーターとしても活躍されている桜美林大学大学院教授の諸星裕さんをお招きし、21世紀の日本の課題と題して、先生の豊富な国際経験の見地からご講演をいただきました。

「21世紀の日本は、少子化により人口は2050年に1億人を下回ると予想されており、今後、いかに労働力人口を確保していくかが課題となる。当然のことながら、日本以外の諸外国からの労働者が必要となり、結果として日本国内の国際化（多民族化）が進むことになる。自治体としても、近い将来、国際化への対応を余儀なくされる」と問題提起をされ、「その第一歩は『恥ずかしくない』自治体となること。つまり、人種、性別、年齢、体のハンディキャップなどによる差別のない社会をつくることである」と述べられました。

そのほかにも多岐にわたり、日本と諸外国の違う点を分かり

やすくお話しいただき、将来の国際化、諸外国との慣習の違いや市民の地方行政への関心度などを知ることができ、大変に有意義な研修でした。

[平成21年3月12日]



講師：諸星裕さん（桜美林大学大学院教授）

第3回 21世紀の日本の課題

あなたも傍聴してみませんか？

※常任委員会の傍聴もできます

請願・陳情の提出は5月28日（木）までに
議会事務局へお願いします

今後の議会予定

5月臨時会

5月19日（火） 本会議

6月定例会（会期18日間）

6月9日（火） 本会議

6月10日（水） 本会議

6月11日（木） 本会議

6月12日（金） 本会議

6月17日（水） 常任委員会

6月18日（木） 常任委員会

6月26日（金） 本会議

第3次 議会改革

議会運営協議会の結果

羽村市議会では、議会運営をより活性化し、市民の皆さんの負託に応えることを目指し、昨年6月に第3次の議会改革に着手しました。

議会運営協議会で19項目について検討を重ね、このほど検討結果がまとまりましたので、お知らせします。

主な検討結果

◆政務調査費の手引き作成

政務調査費の使途の見直しと具体的な基準の作成について検討し、「羽村市議会政務調査費の取扱いに関する要領」と「政務調査費使途基準補足事項」からなる手引書を作成しました。

会派ごとに交付額、収支報告明細書、使途基準ごとの支出額および支出総額、残余（返還金）の額が確定した時点で、その内容を公開していきます。

◆委員会の原則公開と議事録のホームページ公開

委員会は今まで委員長長の許可による制限付きの公開としていましたが、平成21年4月から本会議

同様に公開します。これに合わせ、委員会議事録も議会ホームページで公開します。

◆議会インターネット配信

インターネット配信の導入に向けた基本的事項について協議し、「配信範囲は本会議、配信方法はインターネット録画中継、配信開始時期は平成22年度中」と意見がまとまり、今後、具体的な導入計画を策定していくこととなりました。



▲議長室にて報告書の提出

はむらで見られる 野鳥



トビ

羽村市内では多摩川でピーヒョロロという鳴き声とともによく見られる鳥です。

大型のタカ科で翼を広げた長さは160cmもあります。

日本書紀では金色に輝くトビが現れ、神武天皇の軍を勝利に導いたとされており、「鶯が鷹を生む」「鶯職」という言葉や、童謡、歌謡曲にも登場するなど、昔から日本人に親しまれてきた鳥です。

編集後記

編集委員として2年、9号の議会だよりを担当した。4人の新人議員にとっては、先輩の質疑に再度触れることができ、勉強の場でもあった。議会終了後、各議員から提出された一般質問原稿を編集委員7人が集まって読み合わせる。不明な部分は議員や市の担当に確認。2度の会議、事務局のチェックを経て閉会から1カ月半ほどして全家庭に配布される。議会だよりは市民と議会を結ぶパイプだ。議会改革の一環として、親しみやすい紙面を掲げ、写真を入れ、所属会派を明記した。次期議会からは許可制だった委員会傍聴も原則公開となる。市民の負託に応えるために一層の改革を進めたい。

(山崎記)

《編集委員》

瀧島 愛夫 山崎 陽一
鈴木 拓也 大塚 あかね
西川 美佐保 濱中 俊男
中根 康雄